

# さくら ほっと NEWS

## 特集

- ▶ 「医療デザイン研究センター」  
を開設しました P.2・3

## お知らせ

- ▶ 初診料加算額の改定について
- ▶ さくら基金のご案内 P.4

### 理念

当病院は、地域の中核医療機関として、高度かつ安全で開かれた医療を提供するとともに、質の高い医療人を育成します

### 基本方針

- ・ 大学病院として、高度先進医療を提供します
- ・ 高度情報化を進め、安全で開かれた医療を提供します
- ・ 医学教育を充実し、高い倫理観を持ち信頼される医療人を育成します
- ・ 名古屋都市圏の中核医療機関として、市民の健康と福祉を増進します

## 名古屋市立大学病院

### 患者さんの権利等

#### 患者さんの権利

良質の医療を受ける権利  
情報を知る権利  
選択の自由の権利  
自己決定の権利  
機密保持を得る権利

患者さんは、人格や意思が尊重され、質の高い医療を平等かつ安全に受けることができます。  
患者さんは、ご自身の病気や治療について知ることができるとともに、十分にわかりやすい説明をうけることができます。  
患者さんは、ご自身の受ける治療について、ご自身で選択し変更することができます。また、他の医師の意見を求めることもできます。  
患者さんは、ご自身の受ける治療について、ご自身の意思に基づいて決定することができます。  
患者さんのプライバシーは十分に尊重されるとともに、個人情報には厳正に保護されます。

#### 患者さんの責務

- 病院の規則や治療上必要な指示・助言を守って療養してください。
- ご自身の健康状態について、できるだけ正確に伝えてください。
- 説明を受けても十分に理解できない場合は、納得できるまでお尋ねください。
- 他の患者さんの権利を尊重し、暴言・暴力等の医療の妨げとなるような行為は行わないでください。
- 医療費の自己負担分は必ずお支払いください。

#### お願い

- 大学病院として、医療スタッフを育成するため教育実習を行っていますので、ご理解とご協力をお願いします。

vol.29  
2014年9月

最新の3Dプリンタで革新的な医療機器の開発を推進します!

医療イノベーションの拠点

## 「医療デザイン研究センター」を開設しました



最近、世間で注目を集めている3Dプリンタ。この装置を使い医療機器の開発を進める研究開発事業が名古屋市立大病院で新たにスタートしています。

3Dプリンタは、製品の作製に金型を使わず、様々な素材を熱で溶かして積層するなどして立体を作り出す技術です。工業用の3Dプリンタでは、極めて精密な立体を作製することが可能で、この技術を使い医療機器の試作や人体の骨格、臓器の実物大モデルを作製することにより、革新的な医療機器や新たな治療技術の開発に結びつけていく研究開発事業を進めていくものです。



### 背景～医療機器開発の今～

超高齢化の進展により医療機器の世界市場は今後も約8%の成長率で拡大していくと予測されていますが、国内で使用されている医療機器の多くは海外製品で、2012年では約7,000億円の輸入超過となっています。今後、より患者さんに優しい日本製の医療機器や国内の医療現場に適合した製品を開発することが、医療の質・安全性を向上させるとともに国内の次世代産業の育成にもつながるものと考えられています。

### 名市大病院の取り組み

当院では、2012年から医療機器開発のためのプロジェクトを進めており、これまでに救急医療の現場で使用する喉頭鏡(こうとうきょう)などの開発を実施してきました。

また、今年3月に京都大学医学部附属病院で世界で初めて実施された生体の右肺を左肺に移植する手術では、本プロジェクトチームが3Dプリンタで作成した立体「肺モデル模型」が手術シミュレーションに使われ、手術の成功に貢献しました。



## 経済産業省補助事業採択と医療デザイン研究センター開設

これまでのプロジェクト実績が評価され、今回、名古屋市立大学は経済産業省の補助事業「大学におけるオープンプラットフォーム構築支援事業」に採択され、この補助金を利用して病院に研究開発拠点となる「医療デザイン研究センター」を開設しました。

本センターでは、設置する3Dプリンタを駆使し、医師および研究者、企業、名古屋市工業研究所の産官学連携のもとに、医療機器の研究開発事業を推進していきます。

センター開設式(2014年8月8日)と施設の様子



### 経済産業省 「大学におけるオープンプラットフォーム構築支援事業」

地域のオープンイノベーションを促進することを目的として、大学が地域の公設試験研究機関と協力しながら、中小企業等への研究設備の開放等を行うオープンプラットフォーム構築に必要な研究設備の整備に対する支援をするものです。大学等の知を効果的に中小企業等に還元することで、地域の戦略産業の成長に繋がるイノベーションを加速させ、地域経済の活性化を図ります。

## 研究開発事業の例



ネブライザー



新型人工骨



医療用マスク試作



ドクターカー

### その他

- ・ 医療安全と病院経営改善のための手術材料・器械のワークフローシステムの研究
- ・ 患者に優しく看護師に使いやすい新しい病院用車いすの開発

医療現場である病院にこのような医工連携のオープンプラットフォームが設置されるのは全国的にも非常に珍しい取り組みですが、治療方法や医療現場のニーズを十分に把握している医師と高度技術の研究者、さらに開発力のある企業が一同に集まることで、従来よりも効率的に研究開発が可能となり、最終製品化が進むものと期待されています。

## 初診料加算額の改定について

名古屋市立大学病院では、一般の病院では実施することが難しい手術や、最先端の高度な医療を必要とする患者さんをより多く治療することを目指すとともに、地域の医療機関との機能分担を推進するため、初診料加算額を以下の通り改定させていただきます。ご理解とご協力をお願いいたします。

平成26年9月30日まで

**3,000円(税別)**

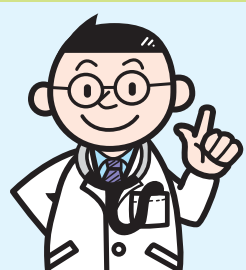
平成26年10月1日以降

**4,000円(税別)**

ほかの医療機関からの紹介状をお持ちの方は初診料加算額をご負担いただく必要はありません。是非紹介状をお持ちください！

## 地域医療連携の推進にご協力ください

診断が確定し病状が安定した患者さんは地域の医療機関にご紹介しております。



### 国が推進する医療機関の機能分化

#### 特定機能病院 (名古屋市立大学病院)

一般の病院では実施することが難しい手術や最先端の高度な医療を必要とする患者さんを担当

#### 地域の医療機関 (かかりつけ医)

健康維持のための日常的な相談や初期診療、症状の安定した慢性疾患等の患者さんを担当

医事課

## さくら基金のご案内

当さくら基金では、広くご寄附の協力を仰ぎ、皆様からいただいたご寄附を、医療の充実を図るために活用させていただいております。

現在、当院においては、「病院全体の振興のためのご寄附」に加えて、「NICU・GCU増床のためのご寄附」へのご協力をお願いしております。ご寄附をお考えの方は、事務課さくら基金担当(052-858-7105)までお問い合わせください。

※直接の当院にお越しいただける方は、外来診療棟1階 総合案内から“事務課さくら基金担当者”をお呼びください。



### 寄附顕彰 (平成25年4月～平成26年3月)～さくら基金へのご寄附ありがとうございました。～

#### 個人

有田 定美 様	延寿堂博之 様	畔柳 健二 様	田中 紀江 様	根本 真嗣 様	松岡 篤史 様
有田よしえ 様	大塚 善治 様	小島 勝利 様	田中 道子 様	早川 節子 様	三澤 茂 様
石井 昭男 様	小川 洋輝 様	小島 昭三 様	土井 恵見 様	早川 実 様	森岡 米子 様
石崎 錫子 様	小口 繁子 様	児玉 正志 様	中川美代子 様	平井 重雄 様	山崎 昌子 様
伊藤 三朗 様	加藤 幸江 様	斉藤 嘉徳 様	中西 勝 様	平松せき子 様	米廣多枝子 様
伊藤 英一 様	加藤 田鶴 様	酒井 一男 様	中野 顕正 様	福上 清敏 様	渡辺千百合 様
伊藤ちよの 様	神谷 昌治 様	佐古 成 様	中原 勇一 様	福島佐千男 様	
稲垣 秀樹 様	區藤富美枝 様	芹澤 郷 様	並河 英幸 様	福田 元子 様	

#### 法人・団体

富士通株式会社 様      三島会 様      龍友会 様

(五十音順 ご芳名の公表に同意された方)

事務課

名市大病院

ホームページの検索方法の案内「名市大病院」で検索

検索

クリック

<http://w3hosp.med.nagoya-cu.ac.jp/>



このQRコードをケータイで読みとると簡単にホームページが見られます。

名市大病院さくらほっとNEWSへのご意見・ご感想をお寄せください。E-mailは [hotnews@med.nagoya-cu.ac.jp](mailto:hotnews@med.nagoya-cu.ac.jp) まで！